

CASBEE® 広島

■ 使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

(使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0))

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)クリアホームズ矢賀 新築工	階数	地上13F
建設地	広島県広島市東区矢賀4丁目324-1	構造	RC造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	200 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年11月 予定	評価の実施日	2023年4月17日
敷地面積	1,751 m ²	作成者	栗原寿樹矢
建築面積	416 m ²	確認日	2023年4月17日
延床面積	4,063 m ²	確認者	定森淳一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 2.9**

Q1 室内環境 **Q1のスコア = 3.4**

Q2 サービス性能 **Q2のスコア = 2.9**

Q3 室外環境(敷地内) **Q3のスコア = 2.2**

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 3.6**

LR1 エネルギー **LR1のスコア = 4.0**

LR2 資源・マテリアル **LR2のスコア = 3.3**

LR3 敷地外環境 **LR3のスコア = 3.5**

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.4

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.8	スコア = 2.1	スコア = 3.0
設計の計画上一特段に配慮した事項 / / / / 解体時に分別が容易な工法や再利用可能な部材を採用し、非再生性資源の使用量削減に配慮 /	設計の計画上一特段に配慮した事項 / 充実した駐車駐輪施設の計画に加え、敷地周辺への交通負荷抑制に努めた /	設計の計画上一特段に配慮した事項 配管及び外壁材に長寿命材を採用し、建築物の耐用性の向上に努めた /

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される